

横浜オープンデータソリューション発展委員会

設立趣意書

公共機関等が保有するデータは、貴重な資産・資源であるにも関わらず、現在、必ずしも有効に活用されていません。

欧米諸国と同様、日本でも、この資産・資源を有効に活用することで、市民への公共サービスの向上や効率化はもとより、透明性向上、企業活動の効率化、新たなサービス・ビジネスの創出など、私たちの社会にとって有意義な効果が生まれることが期待されています。

国は、この7月に「電子行政オープンデータ戦略」を策定し、総務省は「情報流通連携基盤構築事業」等によるオープンデータの流通環境整備を、経済産業省は自ら率先して公共データのオープン化を進める「DATA METI 構想」を、それぞれ進めています。また、産官学が連携・協同してオープンデータの利活用促進と流通環境整備に取り組むことを目的として、「オープンデータ流通推進コンソーシアム」が立ち上がりました。

横浜市も、自治体として、「オープンデータ流通推進コンソーシアム」の趣旨に賛同し、参画すると共に、行政が所有する社会統計データなどを、企業やNPO、大学研究機関など多様な民間主体と積極的に共有化することで、市民生活の課題を協働で解決するという視点から、オープンデータに取り組もうとしています。

そこで、エンジニアやクリエイター、社会起業家、研究者、メディア関係者などが集うことで、横浜におけるオープンデータの取り組みを、民間側から進めるための組織として「横浜オープンデータソリューション発展委員会」の設立を呼びかけます。

もともと横浜は、市民メディアや地域 SNS など市民が地域の情報を収集・加工し、発信、共有化する活動が盛んな都市です。また行政も政策情報誌の発行やGISなどの展開を通じて、市民との政策課題の共有化や政策情報の発信に積極的に取り組んできました。

「横浜オープンデータソリューション発展委員会」では、これまで横浜の市民と行政が培ってきたこのようなオープンデータの土壌を耕し、継承・発展させていくことで、横浜から世界に向けてオープンデータによって成長・発展する新しい都市の姿を発信していきたいと考えています。そのため、志を共有する個人及び団体と呼応しながら、オープンデータの推進に向けた下記のソリューションを実現することで、地域の様々な主体によるオープンデータの取り組みを支援していきます。

- 1 公的データを活用したアイデアソン、ハッカーソンの開催
- 2 公的データによって横浜の政策課題を多様な主体で共有し、解決に向けて「対話」を進めるフューチャーセッションの開催
- 3 横浜市や国に対するオープンデータの技術や制度の検討提案
- 4 オープンデータを進める都市間交流の推進

以上の趣旨に賛同する個人及び団体の発展委員会への参加を広く呼びかけます。

2012年10月26日
呼びかけ人 一同

<呼びかけ人>

大向一輝（国立情報学研究所 准教授）

岡本 真 （アカデミック・リソース・ガイド株式会社 代表取締役）

川島 宏一（（株）公共イノベーション代表取締役）

小林 巖生（有限会社スコレックス 代表取締役）

庄司 昌彦（国際大学 GLOCOM 主任研究員、オープンナレッジファウン
デーション日本グループ）

杉浦裕樹（NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 代表理事）

武田 英明（国立情報学研究所 教授）

深見 嘉明（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任助教）

(50 音順)

「横浜から発信！ オープンデータと対話で創造する新しい公共」

国や自治体などの行政が保有するデータを、市民や企業、大学研究機関など民間に広く公開することで、多様な主体による共創型で社会にとって、有意義なサービスを生み出していこうとするオープンデータの取組みが、今年になってから本格化し始めています。

国は、この7月に「電子行政オープンデータ戦略」を策定し、内閣官房や総務省、経済産業省が中心となり、産官学が共同で、オープンデータを流通させるための様々な取組みを始めました。

横浜市も、自治体として、「オープンデータ流通推進コンソーシアム」の趣旨に賛同し、参画すると共に、行政が所有する社会統計データなどを、企業やNPO、大学研究機関など多様な民間主体と積極的に共有化することで、市民生活の課題を協働で解決するという視点から、オープンデータに取組もうとしています。

そこで、エンジニアやクリエイター、社会起業家、研究者、メディア関係者などが集うことで、横浜におけるオープンデータの取組みを、民間側から進めるための組織として「横浜オープンデータソリューション発展委員会」を設立するためのイベントを開催します。

このイベントでは、オープンデータの推進を通じて、社会問題の解決に本気で取組もうと考える仲間を募ります。その方法は、ビジネスであっても、研究であっても、市民運動であっても構いません。また年齢や職業、居住地などは一切、問いません。あなたの「本気」を持ち寄ることだけが同志の条件です。

11月24日、オープンデータの志を持つそんな方々が、全国から横浜に100人集まるだけで、確実にこの国は、変わり始めると思います。

日時：11月24日（土）午後1時30分～午後5時30分

場所：富士ゼロックス R&D スクエア（横浜駅東口より徒歩8分）

プログラム：

1 徹底討論「この国でオープンデータは、本当に可能か？」

発展委員会の呼びかけ人達が、オープンデータの課題や可能性について、本音トークで語り合います。

2 ワークショップ「オープンデータが紡ぎ出す新しい公共」

オープンデータによって実現される新しい公共のあり方について、参加者によるワークショップ形式の意見交換を行います。

3 決意表明「私が推進するオープンデータ」

オープンデータの推進に向けて、参加者一人ひとりが、決意表明をします。

主催：「横浜オープンデータソリューション発展委員会」設立準備委員会

問合せ先：横浜コミュニティデザインラボ <http://yokohamalab.jp/>